

東燃ゼネラル石油株式会社

2016年12月期第1四半期決算概要

2016年5月13日

取引の記載・見通しに関する注意事項

この資料に記載されている当社および当社グループ各社の事業に関わる計画、見通しについては、本資料作成時における当社の見通しに基づき記載しておりますが、日本および世界経済の動向、原油および製品価格、円ドルの為替レート、需給の変動に大きく左右される業界の競争状況などにより影響を受けます。これらの影響により、実際の業績は本資料で記載した見通しとは大きく異なる可能性があることにご留意ください。

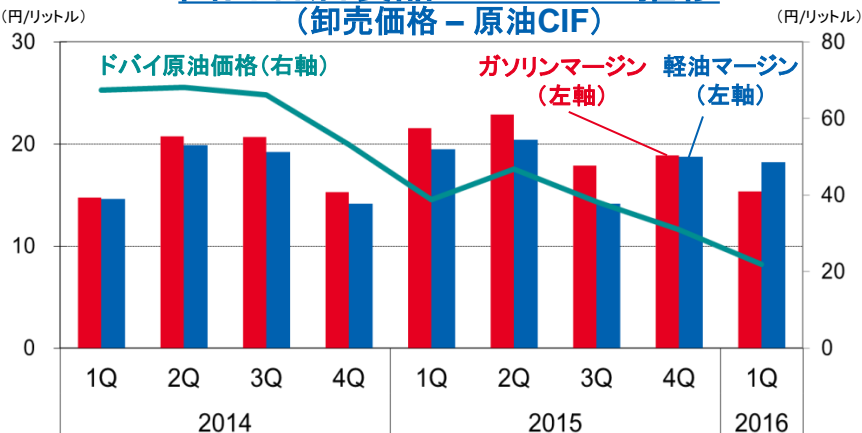


東燃ゼネラル石油株式会社

2016年1-3月期の事業環境

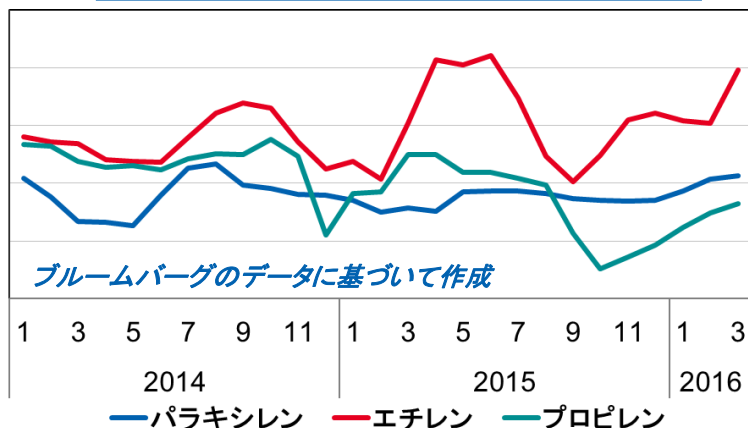
国内石油製品マージンの推移

(卸売価格 - 原油CIF)



石油連盟ならびに石油情報センターのデータに基づいて作成

石油化学品の対ナフサ スプレッド



ブルームバーグのデータに基づいて作成

石油事業

- 原油価格は、1月に月間平均26.8ドル/バレルまで下落も2月以降は緩やかに上昇
- 国内マージンは、1月は製品市況が原油コスト認識に先行して下落したため悪化、2月以降は原油価格上昇に伴い改善
- 主要5油種の国内需要：前年同期比-3.1%
 - ガソリン・中間留分は+0.2%
 - C重油は電力向け需要減少により-23.6%
- 輸出マージンは、ガソリンは堅調に推移するも中間留分は弱含む

石油化学事業

- エチレンマージンはアジア地域での定期修理等により需給が引き締まり上昇
- 芳香族類マージンは緩やかに改善

2016年1-3月期決算概要

- 売上高は前年同期比1,941億円減、原油・製品価格の下落が主たる要因
- 営業利益は66億円の損失、前年同期比76億円増
 - 石油事業 : 142億円減、国内ガソリンマージン・輸出中間留分マージンが減少
 - 石油化学事業 : 52億円増、エチレンマージン等が好調に推移
 - 在庫評価損益 : 166億円増、原油・製品価格下落による評価損
- 当期純利益*は49億円の損失、税法改正による影響等を含む

億円	'15 1-3月期	'16 1-3月期	増減
売上高	6,638	4,698	-1,941
営業利益	-142	-66	76
経常利益	-149	-82	67
特別損益	-3	12	15
当期純利益*	-259	-49	210

(営業利益の内訳)

在庫評価損益	-450	-283	166
のれん償却	-44	-44	-
調整後営業利益	351	261	-90
石油事業	308	165	-142
石油化学事業	43	95	52

* 当期純利益は、非支配株主に帰属する利益を除く親会社(当社)に帰属する当期純利益

2016年1-3月期営業利益増減の要因分析

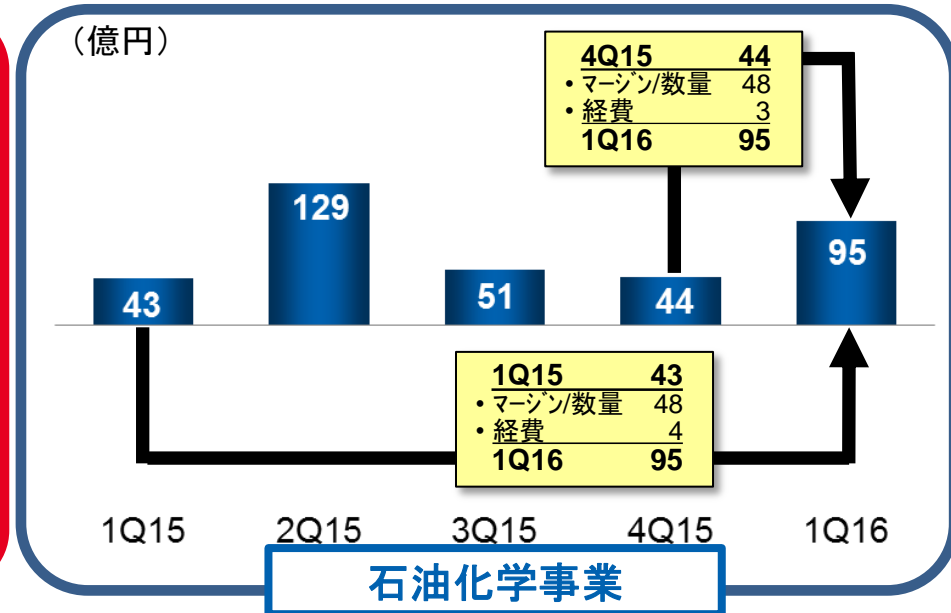
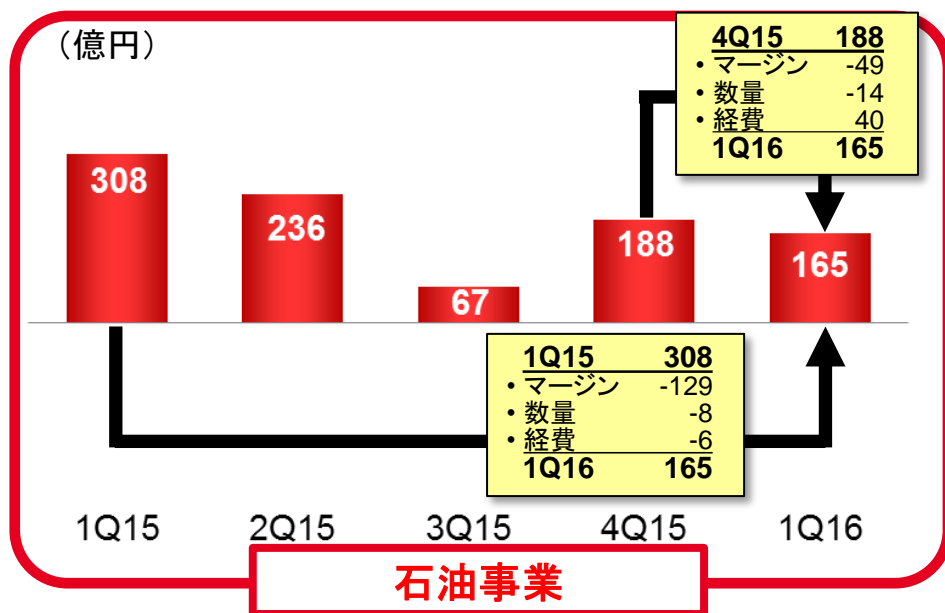
石油事業

- 前年1-3月比では、国内・輸出マージン共に減少、原油調達における利益貢献は減少
- 前年10-12月比は、輸出マージンは改善するも国内マージンは微減、原油調達における利益貢献は減少

石油化学事業

- 引き続き堅調なエチレンマージンに加え、他製品マージンも改善

調整後営業利益の四半期比較(2015年1-3月期～2016年1-3月期)



販売数量

製品	'15年 1-3月期	'16年 1-3月期	増減	増減
石油製品 (千KL)				国内全体
ガソリン	2,466	2,595	5.2%	0.1%
灯油	959	939	-2.1%	0.9%
軽油	910	956	5.0%	-0.6%
A重油	340	419	23.2%	1.0%
C重油	605	610	0.7%	-23.6%
LPG・ジェット・他*1	874	932	6.7%	
国内販売合計*2	6,154	6,450	4.8%	
輸出	1,795	1,369	-23.7%	
石油製品	7,949	7,820	-1.6%	
石油化学製品 (千トン)				
オレフィン類その他	402	388	-3.5%	
芳香族類	215	243	13.1%	
特殊化学品	55	68	22.7%	
石油化学製品	673	699	3.9%	
設備稼働率 (常圧蒸留装置ベース)	83%	82%		
				国内全体 '16年 1-3月期 88%

- 国内・輸出のマージン環境に柔軟に対応し、販路の最適化を継続
 - ガソリンは国内・輸出共に増加
 - 軽油は国内販売を増加
 - A重油は国内販売を強化
 - C重油は船舶用燃料を増加
 - 中間留分の輸出は大幅減
- 石油化学製品は顧客の生産停止に対応し、芳香族類に生産をシフト
- 芳香族はガソリンとのマージン比較で製造、販売の最適化を継続

*1 LPG事業のジクシス株式会社への統合による影響を2015年実績から調整

*2 保税品販売は国内販売数量に含む

2016年連結業績予想*1

- 2016年通期の営業利益予想は480億円、2月発表時から変更なし
 - 石油事業 : 1-3月期の実績は当初計画通り、予想に変更なし
 - 石油化学事業 : 1-3月期の実績および4-6月期の高マージンを反映し90億円増
 - 在庫評価損益 : 90億円の損失と予想
- 1株当たり年間38円の配当予想は変更なし

(億円)	'16 1-3月 実績	業績予想(今回発表)		2月発表比増減	
		1-6月期	'16通期	1-6月期	'16通期
売上高	4,698	11,000	23,000	-	-
営業利益	-66	220	480	-	-
経常利益	-82	220	470	-	-
特別損益	12	0	10	-	-
当期純利益*2	-49	170	310	-	-
(営業利益の内訳)					
在庫評価損益	-283	-90	-90	-90	-90
のれん償却	-44	-85	-170	-	-
調整後営業利益	261	395	740	90	90
石油事業	165	225	470	-	-
石油化学事業	95	170	270	90	90

*1 ドバイ原油価格(40ドル/バレル)および為替レート(110円/ドル)が2016年末まで継続する前提で算出

*2 当期純利益は、非支配株主に帰属する利益を除く親会社(当社)に帰属する当期純利益

キャッシュ・フロー、ネットD/Eレシオ

□ 2016年1-3月期の調整後フリー・キャッシュ・フローは410億円

- 揮発油税等の支払による一時的な影響(627億円)を調整

□ 2016年3月末のネット借入は2015年末比297億円増加

	億円
フリー・キャッシュ・フロー	(217)
配当金等の支払い	(80)
ネット借入 (増加)/減少	(297)

□ ネットD/Eレシオは2016年3月末の1.2から2016年末には0.8に改善の見込み

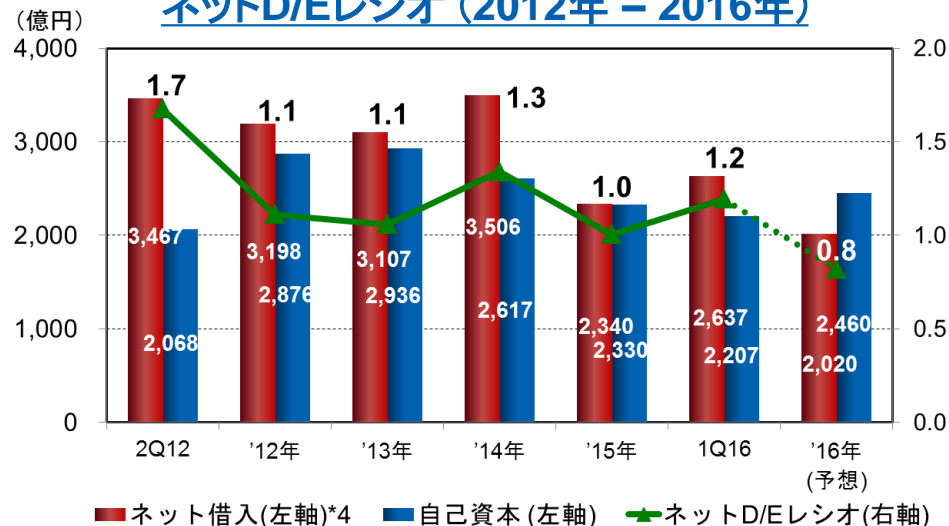
- 良好な営業キャッシュ・フロー
- 揮発油税等の支払タイミングによる影響は年末には解消
- 運転資本最適化を継続

*1 在庫評価損益を除く
 *2 のれんの償却を含む
 *3 営業活動および投資活動によるキャッシュ・フローの合計
 *4 借入金から現金および現金等価物を差し引いて算出

2016年 1-3月期 キャッシュ・フロー (億円)

税引前純利益*1	213
減価償却費*2 / (固定資産の取得)	30
運転資本の変化、その他	167
調整後フリー・キャッシュ・フロー	410
揮発油税等の支払タイミングによる影響	-627
フリー・キャッシュ・フロー*3	-217

期末のネット借入、自己資本およびネットD/Eレシオ (2012年 - 2016年)



補足資料

2016年連結業績予想の前提と感応度

□ 今回の業績予想の前提

主な項目	単位	前提
ドバイ原油価格(FOB)	米ドル/バレル	40
為替レート	円/米ドル	110

上記前提は、売上高および在庫評価損益の計算に使用

□ 前提の変化に伴う利益への影響額(年間換算)

主な項目	単位	上昇幅	年間換算影響額(億円) 営業利益*1
ドバイ原油価格(FOB)	米ドル/バレル	10	270*1
為替レート(円高)	円/米ドル	10	-80*1
石油精製マージン	円/リットル	1	350*2

*1 在庫評価損益の影響のみ。原油価格変動のタイミングや在庫数量によっては異なる結果となりうる

*2 営業利益への年間影響額は10億円単位の概算であり、販売数量の増減によっては異なる結果となりうる

販売数量 - 売上高に相当する販売数量

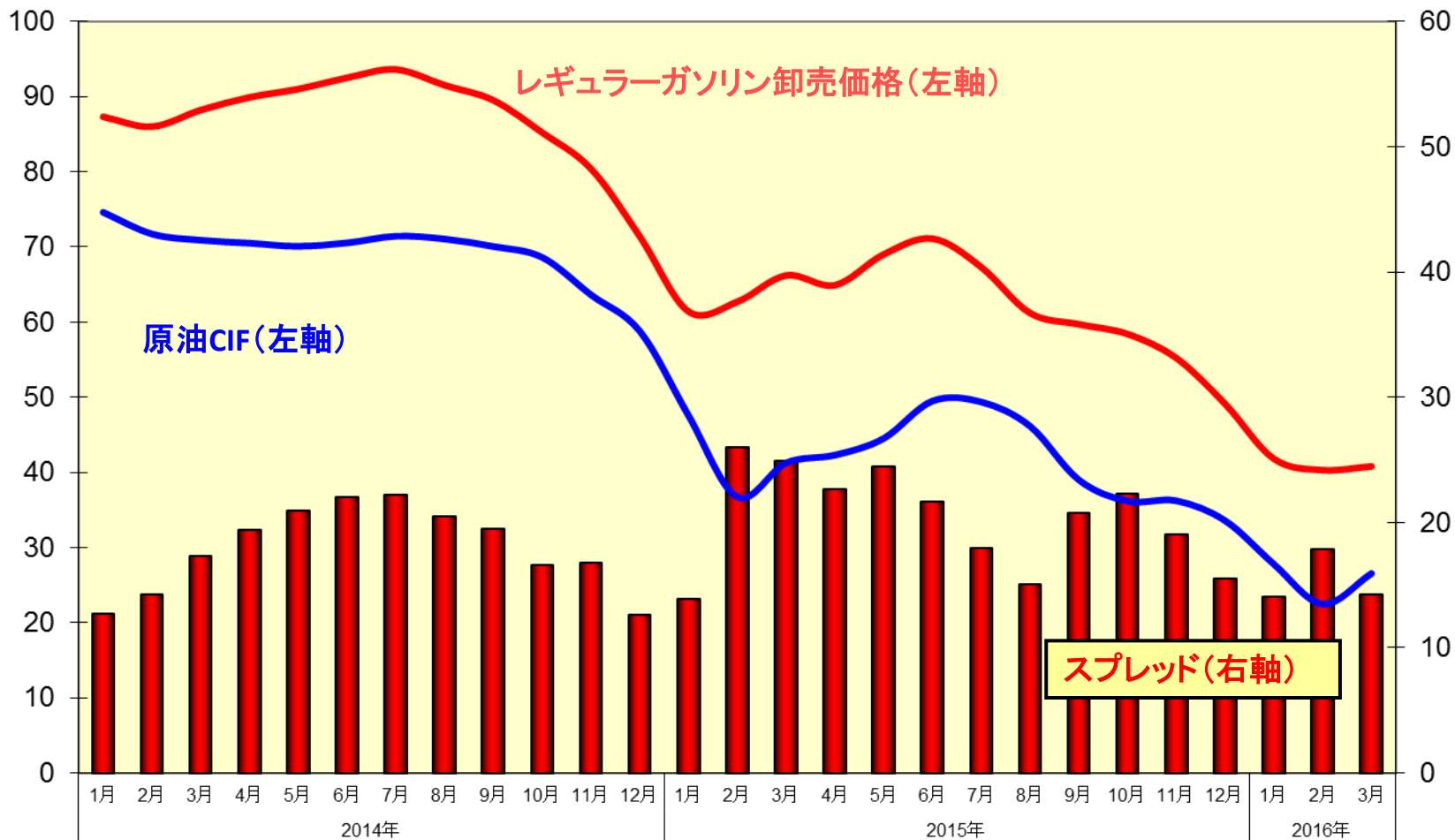
製品	'15年 1-3月期	'16年 1-3月期	増減	増減
石油製品 (千KL)				国内全体
ガソリン	2,466	2,595	5.2%	0.1%
灯油	959	939	-2.1%	0.9%
軽油	910	956	5.0%	-0.6%
A重油	340	419	23.2%	1.0%
C重油	605	610	0.7%	-23.6%
LPG・ジェット・他	1,174	932	-20.6%	
国内販売合計*	6,454	6,450	-0.1%	
輸出	1,795	1,369	-23.7%	
石油製品	8,250	7,820	-5.2%	
石油化学製品 (千トン)				
オレフィン類その他	402	388	-3.5%	
芳香族類	215	243	13.1%	
特殊化学品	55	68	22.7%	
石油化学製品	673	699	3.9%	
設備稼働率 (常圧蒸留装置ベース)	83%	82%		
				国内全体 '16年 1-3月期 88%

* 保稅品販売は国内販売数量に含む

価格スプレッド(ガソリン卸売価格－原油CIF)

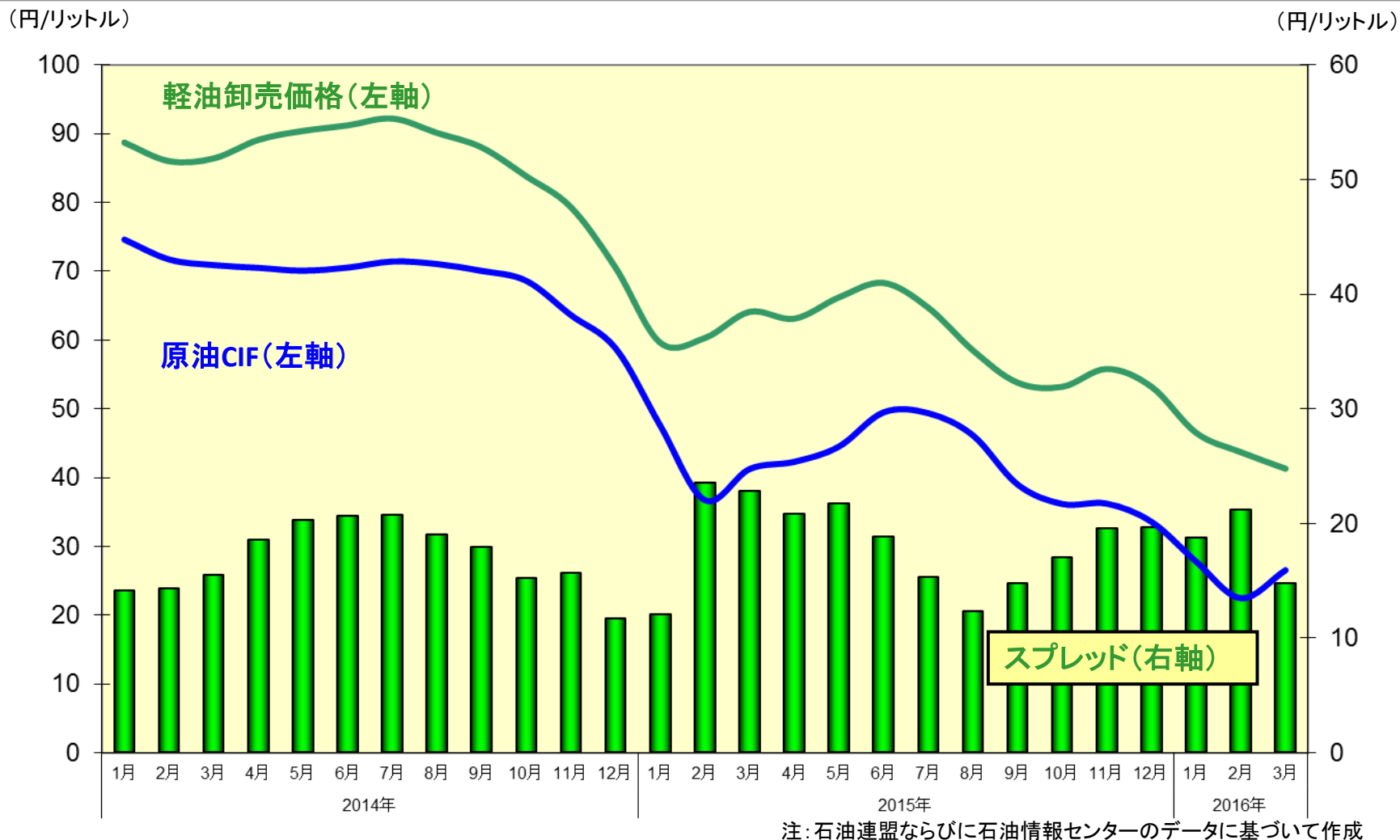
(円/リットル)

(円/リットル)

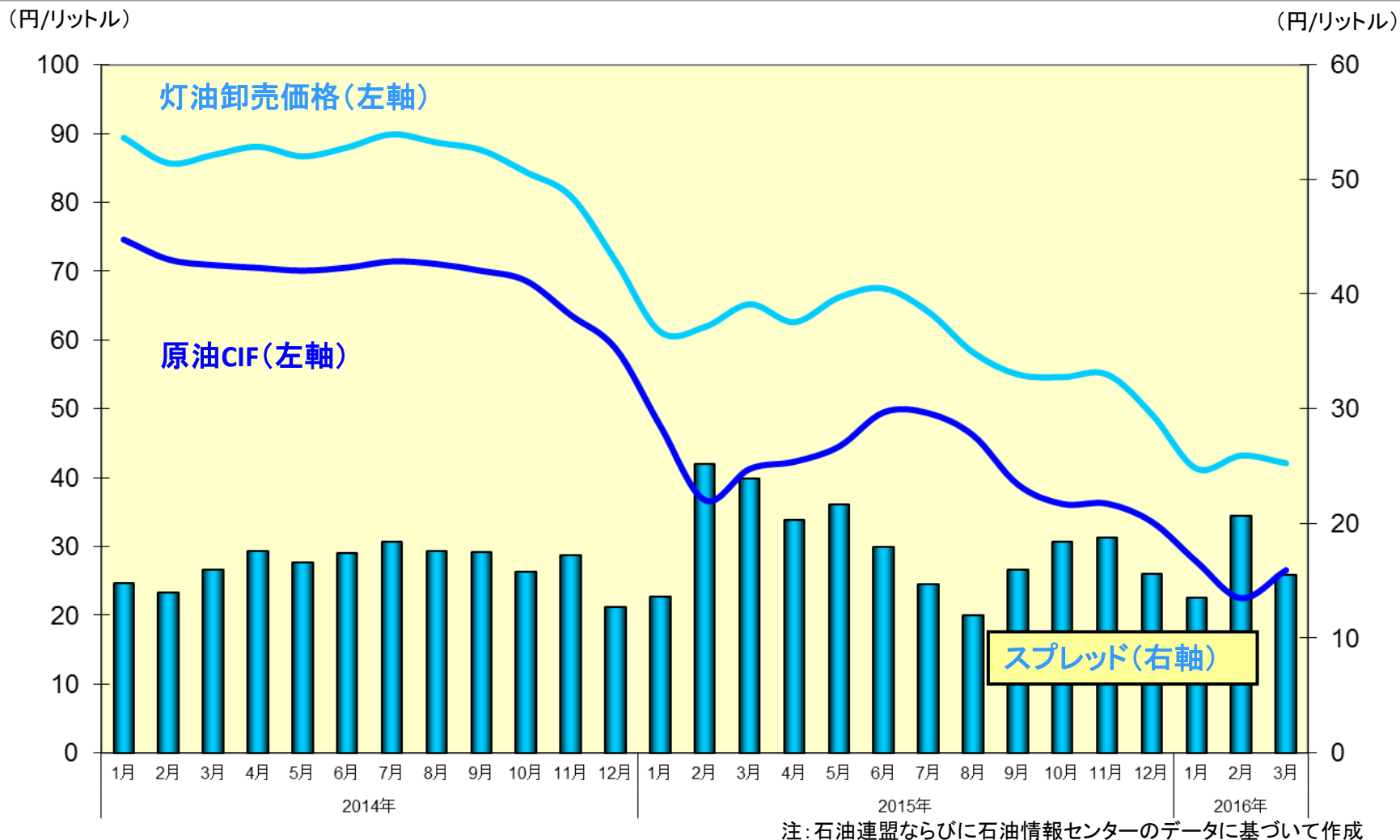


注: 石油連盟ならびに石油情報センターのデータに基づいて作成

価格スプレッド(軽油卸売価格－原油CIF)



価格スプレッド(灯油卸売価格－原油CIF)



営業利益内訳 (2014年 – 2016年1-3月期)

2016年

(単位: 億円)

営業利益内訳	'16 1-3月期	'16 4-6月期	'16 7-9月期	'16 10-12月期	'16 通期	'16 1-6月期	'16 1-9月期
石油部門 (実質)	165						
石油化学部門 (実質)	95						
在庫評価損益	-283						
のれん償却	-44						
総合計	-66						

2015年

営業利益内訳	'15 1-3月期	'15 4-6月期	'15 7-9月期	'15 10-12月期	'15 通期	'15 1-6月期	'15 1-9月期
石油部門 (実質)	308	236	67	188	798	544	611
石油化学部門 (実質)	43	129	51	44	267	172	223
在庫評価損益	-450	228	-380	-269	-871	-221	-601
のれん償却	-44	-44	-44	-44	-175	-87	-131
総合計	-142	549	-306	-82	20	407	101

2014年

営業利益内訳	'14 1-3月期	'14 4-6月期	'14 7-9月期	'14 10-12月期	'14 通期	'14 1-6月期	'14 1-9月期
石油部門 (実質)	-173	6	176	167	177	-166	10
石油化学部門 (実質)	78	45	24	-16	132	123	148
在庫評価損益	1	-36	-62	-768	-865	-35	-97
のれん償却	-42	-44	-44	-44	-173	-86	-130
総合計	-136	-28	95	-660	-729	-164	-69